

令和3年度 決算 審査 のあらまし

令和3年度一般会計及び8特別会計決算等のあわせて9認定議案(総額2,956億1,782万6,987円)について9月27日に設置された決算特別委員会において9月28日、29日、30日、10月3日、4日、5日の計6日間にわたり審査が行われました。その結果、10月7日の本会議で全決算議案が可決及び認定されました。ここでは、決算特別委員会の審査の概要をお知らせします。

令和3年度決算特別委員会委員

- | | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 北橋 節男 | 副委員長 | 安藤 好幸 |
| 委員 | 味村耕太郎 | 委員 | 西 智 |
| 〃 | 神尾 江里 | 〃 | 松長由美絵 |
| 〃 | 永井 譲 | 〃 | 甘粕 和彦 |
| 〃 | 佐野 洋 | 〃 | 武藤 正人 |

火災予防の広報手法

ラッピングバスの活用等 効果的な広報活動を展開する

質問 火災予防の広報手法について、どのような取組を実施しているか聞きたい。また、ラッピングバスによる広報を実施するに至った経緯を聞きたい。

答弁 火災予防の広報として、火災予防キャンペーン等のイベントの実施や、ホームページへの掲出、事業所等へのポスターの掲出、公共交通機関等を利用したデジタルサイネージの活用等、様々な媒体を活用して行ってきた。



新たなツールを活用して、消防広報の充実を図る

質問 ラッピングバスのような新たな広報手法の構築を含め、広く市民に周知する必要があると思うが、今後の火災予防広報の取組について聞きたい。

答弁 現在、ラッピングバス以外にも、消防局として公式のYouTubeやツイ

ッターを開発しており、市民のニーズを捉え、積極的に広報活動を行っているところである。

引き続き、様々なツールを活用し、より効果的な広報活動を展開していく。

質問 ワクチン接種をはじめ、新型コロナウイルス感染症への対応の総括について聞きたい。

答弁 個別接種と集団接種による市民一人一人の状況に合わせたワクチン接種の推進と、コロナ対応に係る人員体制、保健所機能の強化を図り、自宅療養サポートの充実や、重症化リスクの高い施設への重点対応など、感染フェーズに合わせた患者対応に努めた。これらの取組により、一定の効果があったと認識しているが、想定を上回る感染拡大により、医療機関や保健所の逼迫などの課題があった。

質問 今後のワクチン接種、コロナ対応の方向性について、市の考えを聞きたい。

答弁 今後は、社会経済活動との両立を前提とし、限られた医療資源の中で、重症化リスクの高い患者等に対する医療提供体制を確保し、変異株の特性を考慮した上で、自宅療養サポートの充実を図ることが重要と考えている。

質問 現状の課題を踏まえ、そのための、保健医療体制の重点化を図り、自宅療養の環境を整備し、感染拡大の適切な支援提供体制を構築していく。また、年末年始の感染の波に備えるための視点が必要と考えるが、市の考えを聞きたい。

答弁 令和4年9月に開催した防災フェアで、女性の視点で考える避難所運営に関するアンケートを実施し、多くの意見をいただいた。寄せられた声も踏まえながら、女性職員を中心に、女性の視点に立った被災者支援の取組を進めている。

災害時の避難所運営 防災対策の取組 女性視点の被災者支援を

質問 防災対策には、女性と男性が災害から受ける影響の違いなどについて十分配慮された、男女共同参画

質問 生命安全を確保する場である避難所で、女性の声をどう生かしていくのか、具体的な取組を聞きたい。

答弁 アンケートでの意見として、女性専用スペースの確保、夜間見回りの必要

性、相談しやすい女性リーダーの存在、子連れによる周囲への気遣い等があった。そのような、災害時に女性が持つ課題に向き合い、女性や子育て家庭のニーズに配慮した運営を確立していく。

具体的には、藤沢市避難所運営マニュアル及び感染症対策を踏まえた避難所等開設運営マニュアルの統合作業に合わせ、女性視点、ジェンダー平等の明確な位置づけを加えるよう取り組んでいる。また、防災リーダー講習に、女性を対象とした機会を設けていく。



利用者の意見を取り入れ、公園遊具の選定を進める

公園遊具の選定 利用者の意見を

質問 公園施設の老朽化対策として、都市公園遊具点検業務委託を実施したが、点検結果について聞きたい。また、判定結果の悪い遊具への対応について聞きたい。

答弁 269公園で1075基の遊具点検を実施した。結果は使用可能なA判定からC判定が1067基、使

用不可となるD判定が8基あった。判定結果の悪い遊具は点検時に使用禁止措置を行い、修繕可能な遊具は補修し、撤去が必要な遊具は、撤去後に優先順位をつけた上で、新たな遊具を設置した。

質問 撤去後、新たに設置する遊具の選定に当たり、利用者の意見も取り入れながら進めることが必要だと思いが、選定方法について聞きたい。

答弁 撤去後の新たな遊具の選定については、鉄棒やスイング遊具などの単体遊具は現状復帰を行っているが、複合遊具などの大規模な遊具改修の際には、利用者の意見を聞くために、遊具を改修する公園がある学区内の小学校を対象に、アンケートを実施した。今後、引き続きアンケートを行う

スクールロイヤーの活用 法的観点から様々な取組を

質問 スクールロイヤーの配置から1年が経過したが、活動内容及び教育委員会としての評価を聞きたい。

答弁 学校が法的根拠に基づき適正に対応できるよう、学校現場における様々な相談事案を確認し、校長会・児童支援担当者会への助言、教育委員会の対応困難案件への指導・助言を行っている。

質問 法律の専門家としてのスクールロイヤーの今後の取組について、市の考えを聞きたい。

答弁 これまでの経験を踏まえ、いじめ防止対策推進法に基づく対応を中心に、法的な助言を行っている。それらに加え、いじめ防止研修を実施し、いじめ担当のスクールカウンセラーと、要請のあった学校へ出向いている。

質問 放課後児童クラブの整備
公有地の活用を検討

質問 放課後児童クラブの待機児童ゼロを目指し、今後の整備に当たって国や県などの公有地の有効活用も視野に入れる必要があると考える。また、大規模クラブの開所も積極的に行うべきと考えるが、市の見解を

教育委員会委員の任命等に同意

○教育委員会委員の任命について
藤沢市教育委員会委員の1人が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、委員を任命することに同意し、議会の同意を求めた。

議会はこれに同意した。

任期は4年10月1日から8年9月30日までの4年間。

・石井由佳氏(新任、藤沢市在住)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について
藤沢市固定資産評価審査委員会委員の2人が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、委員を選任することに同意し、議会の同意を求めた。

議会はこれに同意した。

任期は4年10月1日から7年9月30日までの3年間。

○オンブズマンの委嘱について
藤沢市オンブズマンの1人が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、新たなオンブズマンを委嘱することに同意し、議会の同意を求めた。

議会はこれに同意した。

任期は5年1月1日から7年12月31日までの3年間。

・田坂宜文氏(再推薦、藤沢市在住)

・田中一矢氏(再推薦、藤沢市在住)

・前田眞美子氏(再推薦、藤沢市在住)

・小原多江子氏(再推薦、藤沢市在住)

るもの。

議会はこれに同意した。

任期は4年10月1日から7年9月30日までの3年間。

・大川宏之氏(再任、藤沢市在住)

・杵淵業明氏(再任、藤沢市在住)

○人権擁護委員候補者の推薦について
藤沢市域の人権擁護委員の4人が、令和4年12月31日をもって任期満了となるため、候補者を推薦することに同意し、議会の同意を求めた。

議会はこれに同意した。

法令遵守の観点から様々な取組が考えられるため、学区再整備事業と連携した整備により新たなクラブが開設し、来年度も環境事業センター再整備事業と連携し、新たなクラブが開所する予定である。今後も整備を予定する小学校区では、国や県を含めた公有地活用の検討を進めていく。

また、整備の進捗と合わせ、条例基準に沿った定員化と大規模クラブの開所を進めていく。

質問 放課後児童クラブの整備に当たって、市として必要な支援を強化していくことが必要と考えるが、市の考えを聞きたい。

答弁 市としては、新型コロナウイルス感染症拡大期に10日間以上児童クラブに勤務した方に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して慰労金を支給した。

また、寄贈いただいた手袋やマスク、消毒液等を必要に応じて児童クラブに配布した。

今後も、国や県の補助制度を活用し、必要に応じた児童クラブの支援を行っていく。